



# 二輪草だより

平成28年7月号  
発行:二輪草センター

- センターの活動予定**
- ◆8月22日(月) 医学概論3 ワークライフバランスについての授業
  - ◆8月26日・29日 訪問看護ステーション看護師のための生涯学習支援研修
  - ◆8月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより8月号発行

## 看護学生と看護師のふれあいランチタイム終了報告

看護職キャリア支援 職場適応支援担当 浅利 尚子

「看護学生と看護師のふれあいランチタイム」は、食事をしながら看護学生と看護師が交流をはかり、卒業後のキャリアやワークライフバランスについて語り合う機会として年1回企画しています。

今年度は、6月16日(木)に開催し、看護学生22名、看護師20名、計42名の参加がありました。看護師からも積極的に声をかけ、看護学生からも質問があり、笑顔で話している姿が多く見られました。看護学生の関心事は「現場の雰囲気を知ること」であり、看護師は部署の雰囲気や体験談を伝え、看護学生にとって知りたい話を聞くことができ楽しいひと時となりました。



アンケート結果では、学生の不安は、「職場での人間関係」「仕事と家庭の両立」が多く、学生が働きたいと思う職場は、「勤務時間、形態への配慮」「職場の人間関係が良い」「研修体制」「育児支援体制の充実」でした。また、「実際に働いている方から貴重なお話を聞くことができました。」「とてもよいお話を聞いて、将来がみえてきました。」「実習で体験できない科の看護師から話を聞くことができ、参加してよかった。」と感想がありました。実習を離れて、臨床で働く看護師から直接話を聞くことは、看護学生にとって有意義であり卒業後の看護師として働く自分の姿を描くよい機会になったと思います。

## 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【6月20日～7月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	16回	稼働回数	16回
病児・病後児保育室	依頼回数	12回	利用回数	10回
カウンセリング相談			利用回数	3回

\* 病児一時預かり室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】 旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL: 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX: 0166-69-3249  
開設時間: 8時30分～17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>



## 合同入局説明会終了報告

二輪草センター 副センター長 安孫子 亜津子

6月22日に二輪草センター主催で「合同入局説明会」が開催されました。

今回は、「旭川医科大学教授陣から聞く大学病院での臨床研修のメリット」をテーマとして、3名の若手教授よりエールをいただきました。

二輪草センターの菅野恭子先生より、二輪草センターのこれまでの取り組みを報告していただきました。その後、吉田晃敏学長より、ご挨拶をいただきました。

教授陣達からのエールでは、1人目は病理学講座 免疫病理学分野の小林博也先生から、病理医の魅力、臨床を経験してから病理医に転向してのメリット、そして教授になることで自らが講座を変化させてきたというご経験をお聞きしました。2人目は麻酔・蘇生学講座の 國澤卓之先生から、大学病院では治療法を決定する際の考え方、臨床医としての道だけではなく研究者や教育者としての道など将来の選択肢が広いことなど、国内外の病院をご経験されてきた先生だからこそのわかる大学病院と市中病院の違いをご説明いただきました。3人目は外科学講座・循環外科学分野の紙谷寛之先生から、良い医師とは、母校を愛することとは、早く進むべき科を決めることの大切さとその覚悟などをお話いただき、いかに医師としての時間を無駄なく過ごすべきか考えさせられました。

その後は6年生の宮澤良祐君と大町侑香さんがパネラーとなり、3教授に皮膚科教授の山本明美先生が加わり、質問形式でのディスカッションを行いました。



左から 山本先生・紙谷先生・國澤先生・小林先生

大学病院と人気の一般病院との違い、研修期間中に妊娠をした場合の支援、入局先を早く決めるメリット、入学形態の違いによって研修病院の制約があるのか、などの質問に対して

お答えいただき、学生さん達の色々な疑問や不安が解消されました。吉田学長から来年度も初期研修医枠をさらに増やす方針であることをお聞きしました。

今年も前日から、たくさんの講座より、それぞれの科における研修の特徴や魅力がポスターで紹介されました。学生投票による「ベストポスター賞」は小児科学講座が受賞されました。また、昨年度から新た設けられた「ベストサポーター賞」では、手術部の黒澤温先生、第2内科の牧野雄一先生、免疫病理の小林博也先生がそれぞれご推薦をいただき受賞されました。二輪草センター長の山本先生自らが育てられたお花が副賞として受賞者に授与されました。

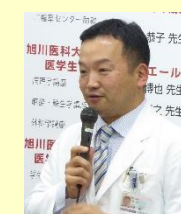
この会は旭川医科大学の卒後臨床研修センターと医学部同窓会の共催であり、今年も同窓会よりサンドイッチと飲み物をご提供いただきました。大変お忙しい中、ご発表、ご挨拶をいただきました先生方、そして遅い時間までご参加いただいた学生さん、先生方、スタッフの皆さんに感謝申し上げます。

### ベストサポーター賞



小林先生

黒澤先生



牧野先生

### ベストポスター賞



小児科学講座 棚橋先生